

2010

---

# 西いぶり広域連合議会会議録

---

第1回定例会

平成22年2月19日開会

平成22年2月19日閉会

西いぶり広域連合議会

## 平成22年第1回西いぶり広域連合議会定例会審議日程

(会期1日)

月 日	曜	会議区分	会 議 時 間	会 議 内 容
2. 19	金	本 会 議	14:00~14:33	開会、会期の決定、議案説明、質疑・ 一般質問、議案の議決、閉会

## 平成22年第1回西いぶり広域連合議会定例会議決結果表

会期 平成22年2月19日（金）（1日）

番 号	件 名	提 出 年 月 日	付託委員会	議 決 結 果
			付託年月日	議決年月日
議案第 1 号	平成21年度西いぶり広域連合一般会計 補正予算（第3号）	22. 2. 19		原 案 可 決
				22. 2. 19
議案第 2 号	平成22年度西いぶり広域連合一般会計 予算	22. 2. 19		原 案 可 決
				22. 2. 19
その他会議に 付した事件	会期の決定			決 定
				22. 2. 19

## 目 次

### 第1号（平成22年2月19日）

議事日程	1
会議に付した事件	1
出席議員	1
欠席議員	1
説明員	1
事務局出席職員	1
開会宣告	1
諸般の報告	2
○木村事務局長	2
日程第1 会議録署名議員の指名（木村 辰二議員、館市 弘太議員）	2
日程第2 会期の決定（2月19日 1日）	2
日程第3 議案第1号、議案第2号（議案説明）	2
○新宮広域連合長	2
○寺島副市長	3
○佐藤 潤議員	4
○中畑事務局長	6
○佐藤 潤議員	7
○中畑事務局長	8
閉会宣告	8

平成22年2月19日（金曜日）

第 1 号

平成22年 第1回定例会

西いぶり広域連合議会会議録 第1号

平成22年2月19日(金曜日)

午後 2時00分 開会

午後 2時33分 閉会

○議事日程

2番 松井保明

- 日程第1 会議録署名議員の指名  
 日程第2 会期の決定  
 日程第3 議案第1号、議案第2号(質疑・  
 一般質問)

○会議に付した事件

- 1 諸般の報告  
 2 日程第1  
 3 日程第2  
 4 日程第3  
 5 委員会付託省略

○出席議員(13名)

議長	14番	我妻 静夫
副議長	15番	大光 巖
	3番	長内 伸一
	4番	横山 実
	5番	半澤 剛夫
	6番	木村 辰二
	7番	舘市 弘太
	8番	小泉 勇一
	9番	永沢 真人
	10番	大村 喬俊
	11番	柏木 隆寿
	12番	佐藤 潤
	13番	大友 勇

○欠席議員(2名)

1番 森 和雄

○説明員

広域連合長	新宮 正志
副広域連合長	小笠原 春一
副広域連合長	菊谷 秀吉
副広域連合長	工藤 国夫
副広域連合長	山中 漢
副広域連合長	長崎 良夫
事務管理者	寺島 孝征
代表監査委員	豊島 良明
事務局長	中畑 一宏
総務課長	谷沢 康夫
総務課主幹	東川 典雄
共同電算室主幹	宮澤 豊

○事務局出席職員

事務局長	木村 晴夫
議事課長	高橋 信幸
議事課主幹	前田 昭雄
議事係長	小田桐 浩明
書記	山下 盛弘
書記	深田 久智

午後 2時00分 開会

○議長(我妻 静夫) ただいまから、平成22年第1回西いぶり広域連合議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

諸般の報告をさせます。

木村事務局長

**○議会事務局長(木村 晴夫)** 御報告申し上げます。

今回提案されております案件は、広域連合長提案にかかわるもの2件でございます。

次に、地方自治法の規定に基づき、監査委員からお手元に配付のとおり報告がございました。

次に、議案説明のため、広域連合長ほか関係役職員の出席を求めています。

以上でございます。

---

#### 諸 般 の 報 告

1 地方自治法第199条第9項の規定に基づき、監査委員から提出のあった事件

定期監査報告について

2 地方自治法第235条の2第3項の規定に基づき、監査委員から提出のあった事件

例月現金出納検査結果報告について(一般会計7~11月分)

上記のとおり報告します。

平成22年2月19日

西いぶり広域連合議会

議 長 我 妻 静 夫

---

**○議長(我妻 静夫)** 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員に、木村 辰二議員並びに館市 弘太議員を指名いたします。

---

**○議長(我妻 静夫)** 次は、日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今定例会の会期は、本日1日とすることに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

**○議長(我妻 静夫)** 異議なしと認めますので、会期は1日と決定いたしました。

---

**○議長(我妻 静夫)** 次は、日程第3 議案第1号平成21年度西いぶり広域連合一般会計補正予算(第3号)外1件を一括議題といたします。

---

議案第1号 平成21年度西いぶり広域連合一般会計補正予算(第3号)

議案第2号 平成22年度西いぶり広域連合一般会計予算

---

**○議長(我妻 静夫)** 広域連合長から、提出議案の大綱について説明のため発言を求められておりますので、これを許します。

新宮広域連合長

**○広域連合長(新宮 正志)(登壇)** 平成22年第1回西いぶり広域連合議会定例会の開会に当たりまして、提出議案の大綱について御説明を申し上げ、御理解と御協力を賜りたいと存じます。

最初に、昨年を振り返りますと、広域連合では広域行政の効率化及び充実強化を図るため、新たに広域振興事務を加え、西胆振地域づくりビジョンを参考として、新たな広域連携の形である定住自立圏構想の西胆振圏域での事業可能性と形成の方向づけを図るため、このたび、定住自立圏形成方策調査報告書を作成したところであります。

今後、この報告書が平成22年度以降に想定される多岐にわたる連携分野の協議を進める上で、中心市や周辺市町において十分活用されることを期待するところであります。

また、廃棄物関連におきましては、ごみ処理量は漸減傾向ではありますが、施設は大きなトラブルもなく順調に稼働しております。

一方、管理運営委託料の基礎となっております計画ごみ処理量については、実績ごみ処理量と約20%もの乖離を生じていることから、構

成市町におけるごみ処理計画との整合性を図りながら、今後慎重に検討する必要があるものと考えてございます。

また、共同電算事務におきましてはおおむね良好に稼働しておりますが、今後国における政策の見直しなどにかかわる事務処理でのシステム改修も予想されているところであり、各市町の事務処理に支障を来さぬよう運営してまいりたいと存じております。

次に、ただいま議題となりました平成21年度補正予算案(第3号)及び平成22年度予算案の2件ですが、補正予算案は国の子ども手当に対応するシステム経費などでございます。

また、平成22年度予算編成に当たりましては、廃棄物処理施設の安定稼働、共同電算事務の効率的な運営及び構成市町の負担金の軽減に向けた内部管理経費の圧縮などを念頭に行ったところでもあります。

ただいま上程されました議案2件につきましては、この後事務管理者から説明させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

**○議長(我妻 静夫)** 寺島事務管理者

**○事務管理者(寺島 孝征)** それでは、各案件につきまして、順次御説明申し上げます。

初めに、議案第1号平成21年度西いぶり広域連合一般会計補正予算(第3号)でございます。

このたびの補正は、国の子ども手当創設への対応に係るシステム整備、また、共同電算に係るサーバー機器等の保守業務委託について債務負担行為の設定を行おうとするものでございます。

第1条では、歳入歳出それぞれ1,785万円を追加し、予算総額を22億9,813万6,000円とするものでございます。

第2条繰越明許費は、2ページの上段第2表

にございますが、情報処理費の子ども手当システム整備につきまして、全額を事業進捗の都合上、次年度へ繰り越すものでございます。

第3条債務負担行為の補正は、2ページ中段の第3表にございますが、平成22年度当初から実施いたします共同電算機器等保守業務委託で3,000万円の限度額を設定するものでございます。

補正の内容でございますが、4ページの歳出をごらんいただきたいと存じます。

第3款情報処理費で、子ども手当に係るシステム整備として1,785万円を計上してございます。

次に、歳入でございます。

第1款分担金及び負担金は、共同電算にかかわる構成市町からの負担金で歳出と同額の1,785万円を計上してございます。

次に、議案第2号平成22年度西いぶり広域連合一般会計予算でございます。

平成22年度西いぶり広域連合一般会計予算及び予算説明書の1ページをごらんいただきたいと存じます。

第1条では、歳入歳出予算の総額を22億3,182万6,000円とし、第2条一時借入金では借り入れの最高限度額を1億円と定めるものでございます。

それでは、予算の主な内容につきまして歳出から御説明申し上げます。

12ページをお開きいただきたいと存じます。

第1款議会費は、議員報酬、委員会調査など議会運営に要する経費330万7,000円を計上してございます。

14ページの第2款総務費は、163万4,000円の計上でございまして、一般管理費では広報西いぶり発行経費など、企画費では広域振興事務経費などを計上してございます。

次に、20ページの第3款情報処理費では、データセンターの運営管理経費や共同電算シス

テムの運用経費など2億6,350万円を計上してございます。

次に、22ページの第4款ごみ処理費では7億7,955万5,000円の計上でございまして、中間処理施設運営費は、施設運転保守管理業務委託料の見直しなどを行い、6億7,528万5,000円の計上、最終処分場運営費は管理業務等委託料など4,792万3,000円、リサイクルプラザ運営費は、管理業務等委託料など5,408万2,000円を計上してございます。

次に、24ページの第5款土木費では、余熱利用施設等の管理運営経費3,742万5,000円の計上でございます。

次に、26ページの第6款公債費では、共同電算システムやごみ処理施設整備に係る地方債の元利償還金など合わせて10億6,846万円を計上してございます。

次に、32ページの第7款職員費は、一般職の給与費や派遣職員の給与費負担金など7,594万5,000円の計上でございます。

なお、この職員費に関連いたしまして、36ページ以降に給与費明細書を掲載してございます。

次に、34ページの第8款予備費は、昨年度と同額の200万円を計上してございます。

以上で歳出を終えまして、次に歳入について御説明申し上げます。

8ページにお戻りいただきたいと存じます。

第1款分担金及び負担金は20億2,734万2,000円の計上で、市町別につきましては説明欄に記載のとおりとなっております。

第2款使用料及び手数料は、ごみ処分手数料など1億2,946万2,000円の計上でございます。

第3款財産収入は空き缶、ペットボトルの売払収入など2,065万1,000円の計上でございます。

第4款繰越金は1,000円の計上で前年度

と同額となっております。

第5款諸収入では、廃棄物処理施設運営に伴う溶融飛灰等処分費収入など5,437万円の計上でございます。

以上が歳入歳出の概要でございまして、このほかの説明資料といたしまして、44ページに歳出予算額の款別及び節別予算調書、46ページに地方債の状況調書、48ページに職員費の目的別予算調書、歳出予算性質別前年度比較表を掲載してございますので、御参照いただきたいと存じます。

以上でございます。

よろしく御審議賜りますようお願いを申し上げます。

**○議長(我妻 静夫)** 質疑並びに一般質問を行います。

通告がありますので、発言を許します。

佐藤 潤議員

**○12番(佐藤 潤)**(登壇) 西いぶり広域連合議会第1回定例会に当たり、本定例会に付議されました議案及び広域連合の運営にかかわり、通告に従い順次質問をしまいたいと存じます。

昨年、我が国では選挙による政権交代という大きな変革がなされ、その一端としていろいろと議論はあるものの、事業仕分けといったこれまでの国の予算編成システムに変化を与える動きなど、国民はその変化を目の当たりにしたところでもあります。

一方、一昨年の100年に一度と言われる景気、経済の不況の影響からはいまだ脱却しておらず、雇用の一層の悪化や円高、さらにデフレによる景気抑制のおそれなど、経済を取り巻く環境は予断を許さないものであります。

新政権として、初めての22年度予算におけるこれら不安材料の解消に向けての効果が期待される所と存じます。

また、このような経済状況が地方自治体に与

える影響も懸念されるところであり、構成市町からの負担金による広域連合の運営ということから、各市町における財政状況とのかかわりは注視されるものと存じます。

さて、西いぶり広域連合は廃棄物広域処理事務から発足し、共同電算事務や広域振興事務とその処理する分野もふえ、広域行政を担う組織としてその重責は年々大きなものとなっております。

そこでお伺いいたします。

平成22年度西いぶり広域連合一般会計予算について、編成に当たって留意した点と主な経費の増減理由についてまずお伺いいたします。

次に、廃棄物の広域処理について4点お伺いいたします。

最初に、ごみ量の推移でございます。

北海道では、平成21年11月にごみ減量やリサイクル推進などの指針となる北海道循環型社会形成推進基本計画素案をまとめ、平成22年度からの5カ年で、道民1人当たりの一般廃棄物排出量を平成19年度実績より12%少ない1日1,000グラムに減らすなどの数値目標を掲げ、本年3月までに成案を固めるとしております。

これに関連し、お聞きいたします。

メルトタワー21における平成19年度以降のごみ搬入量の推移及び道の素案によるごみ搬入量の影響についてお伺いいたします。

次に、ごみ処理施設の稼働状況についてであります。

平成15年の施設稼働当初は、高温空気加熱器の加熱管のひび割れや破損により、多数の加熱管の交換や灯油の追だきなどの問題がございました。また、搬入されるごみ量も年々減少傾向にあると承知しております。

このような状況で7年が経過しようとしておりますが、現状の加熱管の破損状況、灯油の使用状況はどうなっておられるのでしょうか。

次に、施設の運転に伴う周辺環境への影響についてお伺いいたします。

施設の安全操業と住民の安全・安心感を得るため、近隣町会との取り決めにより、周辺地域の環境モニタリングを毎年実施しているわけですが、周辺地域のモニタリングの測定箇所、直近の測定結果はどのようになっておられるのでしょうか。

また、測定結果等の住民周知はどのようにされているのでしょうか。

次に、管理運営会社の経営状況についてお伺いいたします。

昨年10月、地元新聞に室蘭市来年度予算編成、課題と対策というタイトルで廃棄物処理にかかわるものとして、ごみ処理量の減少のほか管理運営会社に係る施設保守経費が当初の見込みより倍以上かかり、経営を圧迫していると報道されておりましたが、その要因はどこにあるのでしょうか。また、今後もそのような状況が続くのでしょうか。

さらに、このような状況の中で、安定した会社運営に向けて運営会社ではいろいろと自助努力はしていると思いますが、広域連合としてどのようにお考えになっているか、御所見をお聞かせください。

次に、共同電算事業についてであります。

2つお伺いいたします。

1つは、電算業務に係るコスト削減を目的にスタートした共同電算事業も稼働からおおよそ2年が経過し、予定していた業務のシステム共同からおおむね完了したとのことであり、さきの総務常任委員会においても、事業の費用対効果について4団体の合計でおおよそ9億7,300万円の削減効果があったとの報告を受けたところでございます。人口1人当たり換算しますと、単純計算でおおよそ1人当たり5,170円の削減となり、大きな効果があったと認識をしているところであります。

そこで、改めてお伺いいたします。

共同電算化による効果の中には、数字上出てこない事務処理上の効果や住民サービスの向上につながるものなどもあると思われませんが、どのように把握されているのでしょうか、お伺いいたします。

2点目は、政権交代により政策の大幅な見直しや新たな施策がなされることと考えますが、それに関連し、共同化システムの改修等を伴うものもあるのではないかと思います。広域連合の予算編成の中でどのように考えておられるのか、御所見をお聞かせください。

最後に、定住自立圏構想について2点お伺いいたします。

最初に、西胆振圏域における定住自立圏構想については、昨年12月の室蘭市の中心市宣言を受け、今後は中心市と周辺市町との具体的な連携事業や役割分担などを室蘭市が主体的な役割を担い、検討を進めていくということになりますが、このたび、広域連合で作成した西胆振地域定住自立圏形成方策調査報告書は、今後どのように活用されているのか、具体的にお伺いしたいと思います。

最後に、広域連携の取り組みの整理についてであります。

広域連合では、平成17年から広域連携の調査研究が始まり、昨年はこれまでの検討状況を踏まえ事業の見直しが行われ、国保事務など6項目について調査研究を行っているとのことですが、広域的な取り組みとして、先ほども触れました定住自立圏構想による連携事業も室蘭市を中心として検討されていく状況であると思えます。

そこでお伺いしますが、それぞれが検討を進めている連携事業の中には重複する事業もあるのではないかと考えますが、これらの整理についてはどのように考えているかお伺いしたいと思います。

以上で終わります。

**○議長（我妻 静夫）** 答弁を求めます。

中畑事務局長

**○事務局長（中畑 一宏）** 佐藤議員の質問に順次お答えを申し上げます。

最初に、平成22年度西いぶり広域連合一般会計予算についてでございますが、編成に当たりましては、各市町の負担金のもととなるごみ処理量の適正な推計や資源物売払収入の確保、共同化システムの適正な保守経費の算定などに留意したところであります。

次に、主な経費の増減では、議会費で広域連携調査研究の進捗に伴う先進地視察経費の計上による増、また、ごみ処理費でごみ処理量にかかわる廃棄物処理委託料の減や、公債費で最終処分場に係る償還の完済による減などが主なものでございます。

次に、廃棄物の広域処理についてのうち、1点目のごみ量の推移及び道の素案による影響でございます。

ごみ量につきましては、平成19年度5万3,423トン、平成20年度5万1,513トンとなっており、運転を開始した平成15年度6万4,163トンに比べ平成20年度は1万2,650トン、率にして約20%減少してございます。

また、ごみ搬入量にかかわる影響でございますが、道の素案で示されております減量に係る一般廃棄物にはビン、缶、ペットボトル、古紙などの資源ごみ、堆肥化される生ごみや廃プラスチックなども含まれておりますことから、現在メルトタワーに搬入されている廃棄物の種類から見ますと、これまでの推移と大きな変化はないものと考えてございます。

次に、加熱管の破損状況及び灯油の使用状況でございますが、加熱管につきましては、材質の変更や取り付け箇所改良などによりまして、破損等はわずかなものとなっております。

また、灯油の使用状況では加熱管の破損等が大幅に減ったことから、ごみ1トン当たりの量は平成15年度の38.9リットルが平成20年度は14.5リットルと約3分の1程度となっており、さらに、本年度は現在のところ前年度と比較し減少傾向で推移してございます。

次に、環境モニタリングについてでございますが、ダイオキシン類の測定箇所は石川町の幡守神社社務所敷地内ほか2カ所、また、一酸化炭素等その他の大気環境につきましては、ダイオキシン類測定箇所の3カ所のほか道において白鳥台5丁目5号公園で測定しており、室蘭市の環境対策課を経由して測定結果を報告いただいております。

また、平成21年度の測定結果でございますが、ダイオキシン類については、すべての地点で法に基づく環境基準値である0.6ピコグラムを大幅に下回っており、一酸化炭素等につきましてもすべて基準値を下回っております。

次に、測定結果等の住民周知についてでございますが、近隣町会からの選出委員による住民監視委員会での報告や広報西いぶり及び構成市町の広報紙を通じて周知をしているところでございます。

次に、管理運営会社の経営状況についてでございますが、まず、施設保守費の増加理由でございますが、機器類の処理性能を維持し突発的な故障を未然に防ぐための点検や機器の更新等、きめ細かなメンテナンスにより2つの炉を安定稼働させることによる保守経費の増でありまして、今後につきましても施設機能を十分に維持し、日々のごみ処理で不測の事態の発生させないため、現行の施設保守費を要するものと聞いてございます。

次に、運営会社に対する広域連合としての考え方でございますが、委託料等の基本となります業務委託契約書の内容について、計画ごみ処理量を含め現状と乖離しているものについてこ

れまでの経過を踏まえ、今後関係市町と検討を重ねる中で対応してまいりたいと存じます。

次に、共同電算事業について、1点目の共同電算事業による効果のうち数字にあらわれない効果でございますが、封入封緘作業などの定型、大量業務に係る事務の負担軽減や、税等のコンビニエンスストア納付による住民の方々の利便性の向上などでの効果があったものと考えてございます。

次に、政策の見直しや新たな政策に伴うシステムの改修でございますが、国における平成22年度予算審議の動向や具体的な制度内容等が示された時点で、参加市町と協議の上対応してまいりたいと存じます。

次に、定住自立圏構想についてでございます。

1点目の調査報告書の活用についてであります。本調査書は西胆振圏域での定住自立圏構想による事業の可能性をまとめたものでありますことから、今後中心市であります室蘭市と各市町との定住自立圏形成協定での取り組み内容や、中心市と周辺市町の役割にかかわる資料として活用されていくものと考えてございます。

次に、広域連携の取り組みの整理についてでございます。

広域連合の調査研究項目と定住自立圏構想による連携事業とで重複する項目につきましては、基本的には広域連合での調査項目としてこれまでどおり協議を進めていくこととしてございますが、現時点で職員の共同研修につきましては、定住自立圏構想による事業として今後室蘭市が設置するワーキンググループで検討されることとなっております。

以上でございます。

**○議長(我妻 静夫)** 佐藤 潤議員

**○12番(佐藤 潤)** 再質問は自席から行いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

2点ほど再質問させていただきます。

まず、廃棄物の広域処理についてございま

すけれども、先ほど施設保守経費の増という答弁がありました。不測の事態を回避するために、きめ細かな点検等々の経費が当初計画よりかかっているというようなことであります。

それでは、平成20年度のごみ処理量での処理単価といいますか、コストはどうか。また同じ焼却方式での処理施設と比較した場合どうなのか、その辺をお聞かせ願いたいと思います。

2点目は、共同電算事業についてでございますけれども、共同化による効果があったと、こういうことで先ほども私の計算では1人当たり5,170円削減されたと、こういうふうなことで答弁を理解したところでございますけれども、これらの内容について、やはり市民にもう少しわかりやすくお知らせをすると、共同電算をやった結果についてはこうだったんだよと速やかに知らせることが私は大変重要なことではないかというふうに思うのです。先ほども言いましたとおり約2年ということでございますから、そういうことで、広域的な事業効果の成果としてこうあったんだということを今後どのように住民に説明あるいは周知をしていくか、この点について再質問して私の質問を終わります。

ありがとうございました。

**○議長(我妻 静夫)** 中畑事務局長

**○事務局長(中畑 一宏)** 再質問についてお答え申し上げます。

初めに、廃棄物の広域処理についてですが、平成20年度のごみ処理委託料ベースでは、1トン当たり1万2,000円程度、西胆振環境(株)の運営経費総額ベースでは1万9,000円程度となっております。

また、同じ焼却方式の施設の調査では、運営経費総額ベースで1トン当たり4万3,000円程度から1万900円程度、平均で3万円程度となっております。他の施設と比べても

本施設は低いほうの額で運営がなされているものと考えてございます。

次に、共同電算事業に係る共同化効果の住民周知でございますけれども、費用対効果を初めとした共同事業の効果を住民の方へお伝えしていくということは大変重要なものと考えてございます。

今後、広域連合の広報紙あるいは参加市町の広報紙などいろいろ媒体を使いまして、わかりやすい内容で周知に努めてまいりたいというふうに考えてございます。

以上でございます。

**○議長(我妻 静夫)** これをもちまして、質疑並びに一般質問を終了いたします。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております案件は、委員会付託を省略することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

**○議長(我妻 静夫)** 異議なしと認めますので、そのように決定いたしました。

お諮りいたします。

ただいま議題となっております案件は、原案のとおり可決することに異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

**○議長(我妻 静夫)** 異議なしと認めますので、そのように決定いたしました。

**○議長(我妻 静夫)** 以上で、今定例会に提案されました案件の審議は全部終了いたしました。

これをもちまして、平成22年第1回西いぶり広域連合議会定例会を閉会いたします。

午後 2時33分 閉会

上記会議の記録に相違ないことを証するため、  
ここに署名する。

議 長 我 妻 静 夫

署 名 議 員 木 村 辰 二

署 名 議 員 舘 市 弘 太